



学園だより

心の飾りを

姫路市香寺町香呂890

TEL 079-232-5578

URL
https://www.hinomoto.ac.jp/



2021年度 入学宣誓式 コロナ禍、自分たちに何ができるか

4月8日(木)午後、爽やかな春の日差しがチャペルいっぱい広がる中、144名の新入生を迎え第129回入学宣誓式が厳かに挙行されました。コロナ禍の中、今年度も新入生だけで行われました。新入生を代表して朝霧咲瑛さんが(播磨南中学校出身)が、憧れだった高校生活に早く慣れ、勉強に部活動に頑張る決意を述べました。



入学宣誓式式辞

学校長 中川 守

「感謝、謙虚、誠実」であれ



方が圧倒的に多かったかもしれませんが、これらも含めて我々は新しい財産をいただきました。いつまでもこれらの財産を食い潰すことなく、そしてこれら以外の財産もこれからの3年間で増やして行ってほしいと願っています。

新しい財産といえば、皆さんの129回生から男子生徒が入学してくれたことです。学校創立130年を前に日ノ本学園高等学校に輝かしい歴史のページを加えてくれました。まだまだ手探りの状態ですが、学習できる環境は整備できたと判断しました。これから学ぶ男子生徒や保護者の方々の意見も参考にし、創造する喜びを感じながら、充実した学校生活となることを願い、今後とも取り組んでいく所存です。最後に、新入生一人ひとりがスポットを浴び、それぞれのステージで輝き、活躍してくれることを願ひまして式辞と致します。

(式辞より一部抜粋)

新入生の皆さん、「ご入学おめでとうございます」。
学校生活でも日常の生活でも、「感謝」「謙虚」「誠実」この3つの言葉を忘れてはいけません。当たり前なのが凄いであって、とても有り難かったこと、即ち「感謝」。一歩下がってものを見て、考え、行動することの大切さを学んだこと、即ち「謙虚」。決められたことや協力を求められたことに真摯に応じる姿勢、即ち「誠実」。コロナ禍では失うもの

オープンキャンパス

今年も様々なプログラムを用意して、皆さんと出会えることを楽しみにしています。

- 午前部 9:30受付 10:00開始
- 午後部 13:30受付 14:00開始

- 第1回 8/21(土) 午前
- 第2回 12/4(土) 午前・午後
- 第3回 12/11(土) 午前・午後
- 入試説明会 12/18(土) 午前・午後

★ 個別相談・学校見学会 (予約優先)

- 第1回 11/6(土) 午前
- 第2回 11/13(土) 午前
- 第3回 11/20(土) 午前・午後
- 第4回 11/27(土) 午前・午後
- 第5回 12/25(土) 午前・午後

※上記の日程は、現段階での予定です。詳細につきましては本校ホームページ等でご確認ください。



2021年度
日ノ本は
変わりました!

フリーアカデミー (FA) コースに14名の男子が入学してきました。校内が変わりました。

★ 不登校生対象進路相談会 (予約優先)

- 第1回 6/26(土) 13:30~16:30
姫路商工会議所、加西市民会館
- 第2回 10/2(土) 13:30~16:30
姫路商工会議所、加西市民会館



日/本のコースの特徴を分かりやすく、教えて!

2022年度より
コースが改編
されます!

特進コース

学際科学コース 男子可

特進コースは、勉強だけでなく部活動や課外活動も高いレベルを目指す生徒が集まり、自分の届きうる最高のレベルを目標に掲げてがんばっています。そのために選択授業は可能な限り少人数に分けて、それぞれの進路を見据えたきめの細かい指導を行っています。また受験対策とは別に、「将来海外に留学したい」、「英語を活かした職業につきたい」と考えている生徒に向けて、英語の実践力を身につけるための英語レベルアップ講座を開催し、多様な進路希望の実現にも対応しています。学校活動においては委員会活動や学園祭、体育祭においてリーダーの役割を務める生徒も多く、学校全体の牽引役を担っています。



幼児教育・音楽コース

男子可

2021年度の「幼児教育・音楽コース」はパワー全開でスタートしました。学年初めのコース集会で、今年度のコース独自の行事に対する意気込みを新たにしました。一番楽しみな幼稚園訪問(何回も行きたいな)、ハロウィン交流会と学園祭での創作劇(さらなる進化を目指します)、リトミック講習会など盛りだくさんです。

また、学園HPにも挙げていますが本学園の強みである幼高大連携を活かした「保育演習」という授業が新設されました。音楽・美術の学びを中心に、短大教授、現役保育士さんのサポートを受け、保育現場ですぐに役立つ知識を、折り紙、壁面制作、絵本の読み聞かせなどの実践を通して学びます。ちょっぴりの緊張感と新しい学びへの期待感でドキドキの春です。



クリエイトコース

未来探究コース

クリエイトコースでは、自らの進路を「創造」することをモットーとして様々な取り組みをしています。

進学するにしても、就職するにしても希望の進路の目標を勝ち取るためには、何よりも学力を身につけることが大切です。そのため、昨年に引き続き、週末課題として新聞記事の書き写しに取り組んでいます。普段、なかなかきちんとした文章を書く機会が少なくなってきましたので、新聞記者などプロの文章に触れ、きちんとした文章の流れを体得するのがねらいです。さらに今年は英単語の勉強にも取り組み、さらなる学力の伸長を図ります。

また、一昨年に好評だった卒業生からの進路講話も復活したいと思っています。かつては同じ日/本の生徒であった先輩たちの話は、親近感を感じるだけでなく、自らの進路の可能性を広げる良い機会となることと思います。



健康体育コース

スーパーアスリートコース

健康体育コースは、強化指定部(サッカー部、新体操部、バレーボール部、バスケットボール部、バドミントン部、陸上競技部)のいずれかに所属します。週に6時間もの時間を使い、専門種目の活動を行うことができるため、競技力向上は間違いなしです。その他にもスポーツ概論、体づくり、ダンスなど通常の体育の授業以外でもスポーツに携わる時間がたくさんあります。

健康体育コースの生徒は、強化指定部としての自覚を持ち、学園の広告塔としての役割を担い、勝利を目指す集団です。

同じ意識を持つ、仲間がいるからこそ高めあえるコースで、このコースでしか学べない事がたくさんあります。夢への第一歩を健康体育コースと一緒に歩んで行きましょう。



福祉コース

未来探究コース

日/本福祉コースでは、介護に携わる人間として「他者を思いやる心」と介護に必要な「基本的な知識や技術」を学びます。

また、日/本学園校訓「心の飾りを」を根底に、素直な心と謙虚な気持ちもモットーとし、強い責任感と忍耐力を鍛え、なにより「人のお役に立てることに喜びを感じられる心」を育みます。

また、専門的教育プログラムを通して、社会福祉・介護福祉検定、介護職員初任者研修課程等の各種検定及び資格取得を目指します。

希望進路実現に向けて、生徒個々の個性と感性を最大限に伸ばし、最終ミッション「社会に貢献できる介護サービスのスペシャリスト」を育成します。



2020年度 介護職員初任者研修課程取得者

上田 夏妃 (小野南中学校出身)	大杉愛柚美 (福崎東中学校出身)
大森 リサ (書写中学校出身)	大山 美優 (香寺中学校出身)
岡井 花 (大津中学校出身)	高橋 梨未 (北条中学校出身)
長田 琉愛 (鹿谷中学校出身)	馬場 美里 (節磨中部中学校出身)
藤原 真衣 (西脇南中学校出身)	松岡 凜 (福崎東中学校出身)
山本 藍 (夢前中学校出身)	

FAコース

男子可

FAコースに新たな1ページが加わりました。今年度は女子29名、男子14名を迎え、総勢80名でのスタートです。1期生はこの春、後輩たちに道を示し、誇らしげに卒業していきました。2期生は進路選択の時を迎え、最上級生としてあるべき姿を見せてくれています。3期生も進路に向けた意識の芽生えとともに顔つきが凛々しくなってきました。今年度も引き続き、「学校に行こう」「学校が楽しい」と思えるよう学習サポートや放課後活動を展開していきます。「変わりたい」と願うあなたの力になりたい。それだけを切に願って、私たちFAコースは生徒の声に耳を傾けます。生徒とともに築き上げていく、それが私たちFAコースです。



日ノ本の部活紹介!

サッカー部 「三冠」～日本一の毎日もみんなで積み重ねる～

2年 林 織羽(堺市立月州中学校出身)

今年のチーム目標の「三冠」には、夏のインターハイ、冬の選手権、そして自分自身に勝つという意味があります。どんな試合でも、不安になることや自信を無くしてしまうような一瞬、苦しい試合の流れなどがあります。その中でも弱い自分に負けず前進できるチームになることをこの「三冠」は意味しています。個人としては、日本一に貢献すること、世代別代表に選ばれるような選手になることが目標です。そのためには、自分自身のスキルアップと共にチームから信頼を得ることが必要だと思います。パスの質、シュートの決定率、視野の広さなどの基礎力を上げ、目標達成に向けて日々練習に取り組んでいます。



- 第29回全日本高等学校女子サッカー選手権大会 2回戦敗退
- 令和2年度兵庫県高等学校サッカー新人大会女子部 優勝



バレーボール部 「王座奪還」

3年 柴田 莉湖(飾磨中部中学校出身)

私たちバレーボール部は、チーム目標に「王座奪還」を掲げ、チーム一丸となって練習に励んでいます。緊急事態宣言の発令により、練習時間が制限されることもありましたが、努力を重ねた結果、3月の県新人戦ではベスト4を掴み取ることができました。



私たち3年次生にとって、兵庫一に挑戦できる大会は残り2つ。その1つである総体予選が始まるとうとしています。大切な仲間と全国の舞台に立つために、今バレーボールができることに感謝し、必ず兵庫一を掴み取ります。また、「応援されるチーム」になるために挨拶・礼儀なども大切に生活していきます。

- 第66回兵庫県高等学校バレーボール男子女子新人大会
- 【2回戦】 日ノ本 2-0 芦屋学園
- 【3回戦】 日ノ本 2-0 高砂
- 【準々決勝】 日ノ本 2-0 神戸常盤

結果：ベスト4進出
(※準決勝・決勝は行われませんでした。)



新体操部 「日本一」

2年 宇野 ひまり(光ガ丘中学校出身)

新体操部は日本一を目標に掲げ日々練習しています。その為には日本一の練習が必要だと思います。日本一という大きな目標を達成するためには、辛いことや苦しいことなどたくさん経験すると思いますが、それを乗り越える力が重要になると思います。常にチームの中でお互いに高め合って練習し、諦めず毎日やりきる練習を積み重ねていきたいです。また、練習だけでなく、生活面からも正していき、誰からも応援されるチームとなっていきたいです。昨年はコロナの影響で試合の数も減り、思うようにいかないことも多くありましたが、このコロナ禍の中でも試合が開催されることに感謝して、これからも頑張っていきたいと思っています。



- 11月6～7日 兵庫県新体操新人大会 (ウイング体育館) 団体総合2位
- 11月20～22日 第73回全日本新体操選手権大会 (高崎アリーナ) 個人出場 団体総合6位入賞
- 3月24～26日 第36回全国高等学校新体操選抜大会 (北海きたえーる) 個人総合5位 堅田 希颯 団体総合14位

バドミントン部 日々進化も

2年 岡元 葵空(朝日中学校出身)

私たちバドミントン部は2年生7名、1年生3名の計10名で活動しています。チームでの目標は県大会で決勝戦に進出することです。各自がしっかりと個々の目標を持ち、目標達成のために日々の練習に励んでいます。人数が少ないからこそ、お互いの事をよく理解して、絆を深めることができている。勝ってみんなで喜べるチームを目指し、これからも頑張っていきたいです。



- 令和2年度 兵庫県高等学校新人バドミントン選手権大会
- 西播地区 団体 優勝 ダブルス 優勝 シングルス 優勝
- 県 団体 3位
- 令和3年度 兵庫県高等学校総合体育大会バドミントン競技
- 西播地区 団体 優勝 ダブルス 優勝 シングルス 優勝

バスケットボール部 感謝の心を大切に

3年 浅倉 彩華(本庄中学校出身)

私たちバスケットボール部は、兵庫県でベスト4に入ることを目標に顧問の先生のご指導の下、日々練習に励んでいます。3月に行われた県新人選抜優勝大会では準々決勝で敗退し、目標を達成することができず、悔しい結果となりました。



昨年は県総体がコロナウイルス感染症の影響で1試合のみの開催となり、バスケットボールができる環境が当たり前でないことを実感しました。大会ができることに感謝し、たくさんの方々の想いを背負って、毎試合戦っていきたくと思います。チーム一丸となり目標に向かって成長していくことができるよう頑張ります。

- 第73回兵庫県高等学校新人バスケットボール選抜優勝大会
- 【1回戦】 日ノ本 90-38 六甲アイランド
- 【2回戦】 日ノ本 69-41 猪名川
- 【3回戦】 日ノ本 77-48 篠山産業
- 【準々決勝】 日ノ本 33-64 神戸星城

結果：ベスト8進出
(※準決勝・決勝は行われませんでした。)



陸上競技部 ～個々の力が一つとなって～

3年 藤原 梨央(社中学校出身)

私たち陸上競技部は各自が立てた目標に向かって日々練習に励んでいます。目標達成にはまず自分を知らなければなりません。自分の長所・短所を知り、自分で課題を見つけ、それを克服するための練習を繰り返して結果を出す。その結果が出た時の喜びは何物にも代えることができないほどのものです。それぞれが取り組んでいる種目は違いますが、お互いが良きチームメイトであり、かつ良きライバルとなって、今年は昨年中止になったインターハイで活躍することを目標に頑張っています。



- 第74回西播校以降陸上競技対校選手権大会
- 女子総合 6位 フィールド総合 2位
- 起塚 幸香(3年 赤穂中学校出身) やり投 1位 砲丸投 7位
- 村角 琉那(3年 松陽中学校出身) 円盤投 5位
- 押部 唯愛(2年 別府中学校出身) 円盤投 3位 ハンマー投 3位 砲丸投 4位
- 土井 果恋(1年 朝日中学校出身) 走高跳 4位





2021.2.20 126回 卒業証書授与式

答辞 (一部抜粋)

3年間、ありがとうございました。
今年度は、新型コロナウイルスの影響で長い自粛期間から始まりました。自粛期間中に自身の課題と向きあう中、一人で頑張り続けることがどれほど難しいことか、そして「どんなに苦しくても仲間がいれば乗り越えられる」ということを強く実感しました。

最後まで私たちを先輩として慕ってくれた後輩のみなさん。私たちは最後までみなさんにカッコイイ姿をみせることはできたでしょうか。今、このような状況だからこそ当たり前前の日常に感謝し、一日一日を大切に過ごしてください。そして、お父さん、お母さん。迷惑ばかりかけてしまい、わがままばかり言ってしまい、ごめんなさい。

お父さん、お母さんの望むような私たちに

成長することはできただしょうか。何度感謝の気持ちを伝えても言い足りないほど感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとう。そしてこれからもよろしくお願いします。

マタイによる副音書7章7節に次のような言葉があります。「求めなさい。そうすれば与えられる。探しなさい。そうすれば見つかる。門をたたきなさい。そうすれば開かれる。」私たちのこれからの人生において、もし、厳しい現実打ちめされたり、逆境に立たされることがあっても、私たちは神の教えを守り、あらゆる可能性を信じ、挑戦し続けます。

最後になりましたが、日ノ本学園高等学校の今後のますますのご発展と皆様方のご活躍を心からお祈りし、答辞とさせていただきます。3年間本当にありがとうございました。

沖田 有由 (八代市立第二中学校出身)



卒業に向けて母から娘へ ～生まれてきてくれてありがとう～

早いものでもう卒業ですね。中学3年の秋、日ノ本学園のオープンキャンパスに親子で参加をして幼児教育・音楽コースのある日ノ本に進学を決めました。

入学してから勉強もよくしてとても良い成績ももらいましたね。また、部活動のテニス部でも2年生からキャプテンを任せてもらい、たくさん悩みながらも一生懸命取り組み頑張りました。貴重な経験をさせていただきました。

「やめたい、やめたい」と愚痴をこぼすことも多かったのですが「最後まで続けて良かったわ」とすがすがしい笑顔で話してくれたのが心に残っています。成長を感じました。実りのある学校生活を送れたことに先生方や友だちに感謝をしない

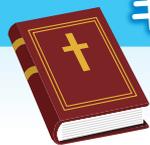
といけませんね。卒業生でもある母はあなたを日ノ本に進ませたことをとても良かったと思っています。とても会話が弾み楽しい時間を過ごすことができました。いろいろな発見もありました。3年生では幼稚園児を迎えるのハロウィンパーティでの司会にクリスマス礼拝でのページェントの預言者(司会)、「えーっ」驚きの連続です。心もすごく強くなったんですね。自信もつけて4月からは大学生、たくさん学んでください。良いことも苦しく辛いこともいい思い出になるように前向きに頑張ってください。あなたの明るくすてきな笑顔がたくさんみたいです。応援しています。大好きだよ。

126回生保護者

第126回卒業証書授与式での表彰

- 総代 比留田 美里 (西脇中学校出身)
- 日本私立中学高等学校連合会特別表彰 安藤 愛莉 (塩瀬中学校出身)
- 兵庫県私立中学高等学校連合会特別表彰 大西 帆海 (鹿谷中学校出身)
- 全国福祉高等学校長会理事長賞 中井 優花 (増位中学校出身)
- 三箇年皆勤賞
 - 藤尾 紗良 (香寺中学校出身)
 - 稲田 百香 (網干中学校出身)
 - 中井 優花 (増位中学校出身)
 - 木村 果愛 (久留米市立明星中学校出身)
 - 栗田 そら (宇治市立西宇治中学校出身)
 - 殿山 梨奈 (大津市立仰木中学校出身)
 - 中農 有梨恵 (福岡西中学校出身)
 - 安藤 愛莉 (塩瀬中学校出身)
 - 沖田 有由 (八代市立第二中学校出身)
 - 國見 萌花 (歌敷山中学校出身)

キリスト教教育週間 (2021.4/19~23)



目的

新学期に建学の精神、キリスト教及び聖書に触れ、親しむ期間にする。

キリスト教教育週間を終えて

3年 垣内 輝香 (加西中学校出身)

キリスト教教育週間を終えて、私は本当の正義とは何なのかと考えました。映像学習で「プリンス・オブ・エジプト」の映画を観て、他の人を苦しめ自分たちだけが幸せを手にするのか、他の人を助けみんなと幸せになるのか、モーセは後者を選んだので他者から信頼を得たり、また、「神」も助けてくださるのだと思いました。外見を着飾るのではなく、心のあり方で人生は変わっていくことを学びました。私は、上手いかわないことが一度でもあるとすぐに諦めてしまいます。何事も継続することが苦手な私ですが、今回、映画を観て、今後は少しずつ前向きに努力し、継続できるようになりたいと思いました。

3年 中垣 虹衣碧 (日進市立日進西中学校出身)

キリスト教教育週間を終えて、「モーセの心」を持つことはすごく大切だと感じました。その「モーセの心」とは、自分と他人との身分の間に差を付けず、立場が違っても人を平等に見ていることです。そして、ダメなことはダメと自分自身にも他人にもしっかりと伝えられることです。私たちの周りには、たくさんの友だちや仲間がいて、毎日楽しいことで溢れています。しかし一緒に楽しく過ごしている友だちや仲間が、いけないことをしているとき、「それはやめた方がよい」と言える人が何人いるでしょう。そこで言えるのが本当の友だちであり、本当の仲間であると改めて学びました。私自身正しい判断ができ、人に流されないように、周りで支えてくれる人を信じて行動していきたいと思いました。また、自他の命の大切さにも気づくことができました。最高学年になったからといって、周りの状況を見失わず、自分に厳しく人に優しくしていけるような人になれるようにしたいです。

お知らせ

私立高等学校生徒授業料軽減補助制度

兵庫県在住の保護者(学資負担者)の所得に応じて授業料が軽減される制度で、2020年度は8,892千円が交付されました。詳細及び手続きにつきましては、日ノ本学園高等学校事務室までお問い合わせください。

2022年度から日ノ本学園高等学校は
更に進化します。

新コース説明会 10/16(土) 10:00~